

国有林はかずら橋の架け替え資材を提供しています



架け替え後の渡り初め式(令和3(2021)年2月)

祖谷地域では、古くから「かずら橋」を地元の生活路として利用してきました。この「かずら橋」は周辺の山野に自生するシラクチカズラというつる植物を編み連ねて架けられており、「祖谷のかずら橋」は3年に一度架け替えられます。架け替えには約6トンのシラクチカズラが必要でシラクチカズラの確保が難しくなっていることから、地元への貢献として国有林からもシラクチカズラを「祖谷のかずら橋」の架け替え資材として提供しています。



採取したシラクチカズラ



利用できる太さに成長するまで30年程度かかります



3年に一度の架け替え作業中

シラクチカズラ（サルナシ）はつる性の植物で、祖谷地区の山野に自生しており、キウイフルーツに似た味の2～3cmの小さな果実はジャムやジュースなどに加工されて利用されています。

このシラクチカズラが「かずら橋」の材料となりますが、祖谷地区では「祖谷のかずら橋」と「奥祖谷二重かずら橋」の架け替えが定期的に行われており、架け替えを行う三好市ではシラクチカズラの確保に苦慮していました。

この課題を解決するため、「祖谷のかずら橋架け替え資材確保実行委員会」は、地元の小中学生と連携して、シラクチカズラの苗木を育てる活動を行っています。

徳島森林管理署では、祖谷のかずら橋架け替え資材確保実行委員会と「シラクチカズラの育成のための協定」を締結し、小中学生が育てた苗木を植栽するフィールドを管理する国有林内に設けています。



毎年、地元の小中学生が苗木を育てます



林内に植え付ける4～5年生の苗木



国有林内のフィールドに苗木を植栽しました(令和4(2022)年7月)

徳島の国有林について

徳島森林管理署は16,282haの国有林と2,107haの官行造林の管理経営を行っています。当署が管轄する国有林は四国山地の東部に位置し、剣山や三嶺もこの国有林内にあります。

一帯は、吉野川や、那賀川の支流へ注ぐ重要な源流地域をなし、林産物の安定共有や地域振興にも貢献しながら、剣山自然休養林、高城山風致探勝林を設定し、生物多様性の確保など多岐にわたる公益的機能の発揮に重点を置いている森林地域です。

レクリエーションの森



剣山

剣山自然休養林のホームページ

https://www.rinya.maff.go.jp/e/national_forest/recreation_forest/tsrugisan.html



木材を安定して供給する

国有林は木材の安定的な供給にも貢献しています



三嶺

徳島森林管理署



国有林
官行造林



貴重な森林や生態系をまもる

イラスト 平田美紗子

地域の暮らしをまもる

災害に強く安心して暮らせる地域づくりのため、必要に応じ樹木の伐採を制限したり、土砂崩れや地すべりを防ぐ工事を行っています。



地すべりの防止

地すべり発生の危険がある地域で地盤の動きを常時監視したり、地すべりを防止するための工事を行います。



治山事業の実施

土砂崩れで崩壊した山腹の復旧緑化や災害を防ぐダムを設置を行っています。

林野庁 四国森林管理局
徳島森林管理署

〒771-0117

徳島市川内町鶴島239-1

TEL 088-637-1230

<https://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/tokusima/index.html>

